

令和3年度

# 区長と語る会結果報告書

東京都台東区

この報告書は令和3年度に開催いたしました「区長と語る会」での発言の要旨をまとめたものです。

「区長と語る会」は、区長が直接区民の皆様からご意見・ご要望等をお聴きし、貴重なご意見として、区政に反映させることを目的に開催しております。

今年度は、地区町会連合会の皆様と語る会を開催いたしました。

いただきましたご意見・ご提案等につきましては、直ちに担当部署に報告し、可能なものは実施に向け、課題につきましては関係機関と解決に向け、取り組んでまいります。

最後に、語る会の開催にあたりご協力をいただきました皆さまに、心から感謝申し上げます。

令和4年3月

台東区総務部 広報課

## 「区長と語る会」開催日及び出席人数

対 象	開 催 日	会 場	出席人数
浅草橋地区町会連合会	11月 5日(金)	浅草橋区民館	16名
浅草寿地区町会連合会	11月 5日(金)	寿区民館	28名
雷門地区町会連合会	11月 8日(月)	生涯学習センター	24名
竹町地区町会連合会	11月 9日(火)	台東一丁目区民館	9名
上野地区町会連合会	11月 9日(火)	上野区民館	16名
清川地区町会連合会	11月10日(水)	台東リバーサイド スポーツセンター	21名
馬道地区町会連合会	11月11日(木)	台東区民会館	17名
東上野地区町会連合会	12月 3日(金)	株式会社オーラム	18名
入谷地区町会連合会	12月 6日(月)	入谷地区センター (仮事務所)	17名
谷中地区町会連合会	2月28日(月)	谷中区民館	16名
金杉地区町会連合会	3月 4日(金)	金杉区民館	14名
合 計			196名

## 目 次

### 「台東区町会連合会との語る会」

#### 《浅草橋地区町会連合会》

- ◇コロナ禍における区の対策について ..... 1
- ◇避難所の運営について ..... 2
- ◇浅草橋駅周辺まちづくりについて ..... 2
- ◇シニアクラブの運営について ..... 3

#### 《浅草寿地区町会連合会》

- ◇町会活性化について ..... 5
- ◇花と緑で街を飾る運動を ..... 6
- ◇区長と語る会について ..... 6
- ◇水防訓練の実施について ..... 7
- ◇商店街への支援について ..... 8

#### 《雷門地区町会連合会》

- ◇広報のポスティングについて ..... 9

◇4階建以上の建物の規制について	10
------------------	----

◇隅田公園内及び周辺の管理について	10
-------------------	----

◇コロナ対策について	11
------------	----

### 《竹町地区町会連合会》

◇マンションの「防犯カメラ」設置について	13
----------------------	----

◇青色パトロール車による巡回アナウンスについて	14
-------------------------	----

◇区立公園内の多国語による掲示について	14
---------------------	----

◇一人暮らし高齢者等の健康状態確認について	15
-----------------------	----

### 《上野地区町会連合会》

◇情報発信について	17
-----------	----

◇上野の街の活性化支援について	18
-----------------	----

◇防災無線について	18
-----------	----

◇動物園通りの植栽について	19
---------------	----

## 《清川地区町会連合会》

◇告知用ポスターについて	21
◇ふるさと納税について	22
◇町会定例会資料ペーパーレス化について	22
◇マンション住民の町会参画について	23
◇山下清 生誕100周年について	24

## 《馬道地区町会連合会》

◇新型コロナウイルスワクチン接種済証の活用について	25
◇キャッシュレス決済について	26
◇防災訓練について	27
◇コロナ禍における経済支援について	28

## 《東上野地区町会連合会》

◇水はけの悪い側溝について	29
◇時計の設置場所などについて	30

◇コロナ対応にかかる発信の工夫について	30
---------------------	----

◇空き家・空き店舗の利用活用と店舗出店希望事業とのマッチングについて	31
------------------------------------	----

### 《入谷地区町会連合会》

◇旧坂本小学校跡地の利用計画について	33
--------------------	----

◇高齢者の一人暮らしについて	34
----------------	----

◇マイナンバーカードの活用について	34
-------------------	----

◇入谷地区区有地の中長期視点に立った活用について	35
--------------------------	----

◇ポイ捨て行為等の防止に関する条例の強化について	36
--------------------------	----

◇閉校を利用したコロナ対策について	37
-------------------	----

### 《谷中地区町会連合会》

◇老朽化した建物の保存・活用について	39
--------------------	----

◇通学路の再点検について	40
--------------	----

◇防犯灯の設置について	40
-------------	----

◇独居老人の安否ケア確認活動の取り組みについて	41
-------------------------	----

《金杉地区町会連合会》

◇町会加入の促進について ..... 43

◇洪水時の水位表示について ..... 44

◇在宅医療の推進について ..... 45

- ・この報告書は「区長と語る会」における質問と回答の要旨を記載いたしました。
- ・町会名や肩書きは「区長と語る会」開催時のものです。
- ・（※）は「区長と語る会」開催後の経過報告および補足事項を記載いたしました。
- ・対応の表示内容は以下のとおりです。

対応	実施済	対応中	今後対応	検討	他機関へ 要望	課題あり	事業説明
	◎	○	◇	☆	●	△	—



「台東区町会連合会との語る会」

《 浅草橋地区町会連合会 》

日時：11月5日（金） 午前11時から（会 場：浅草橋区民館）

◇コロナ禍における区の対策について

質問	回答	対応
<p>台東区では、近年国内外からの観光客、来訪者が増加し、宿泊業、小売業、飲食産業等の拡大が見られていましたが、その分、今回の新型コロナウイルス感染症の流行で受けた影響は計り知れず、大幅な税収の落ち込みが危惧されます。</p> <p>今後の税収減に対する区の対応、対策について、どのようなお考えをお持ちか伺います。また大きなダメージを受けた中小企業や、サービス産業への具体的な経済支援策等はあるのでしょうか。</p>	<p>区では国や都の補助金などの相談に応じる「特別相談窓口」や、中小企業診断士が経営相談を行う「緊急経営相談ダイヤル」の開設のほか、感染症の影響を踏まえた新たなビジネスに取り組む経費の一部を助成する「新ビジネスチャレンジ支援」や、中小企業者の返済負担の軽減を目的とした「新型コロナウイルス感染症対策借換特別資金」の融資、業況が悪化した事業者に資金繰りを支援する「経営持続化特別資金」も実施しています。</p> <p>また、区内で活躍する事業者の皆さまに会って商品に触れ、サービスを体感できる「産業フェア」では展示商談会を開催しました。</p> <p>11月1日には旅行会社と連携協定を結び、伝統工芸職人の工房や老舗飲食店の厨房などの撮影を行う旅行商品など、広く地域資源の周知を図れるような新しい取り組みも始めました。</p> <p>今後も、地域経済の活性化に努めてまいります。</p>	<p>○</p>

### ◇避難所の運営について

質問	回答	対応
<p>大地震が発生した場合の初動対応や、役割分担が明確になっていないのが実情です。今年度から「台東育英小学校」の改修工事が始まるため、避難所が「浅草中学校」に変更になると聞いていますが、避難所運営委員会との連携、連絡が行われていない状況で大丈夫でしょうか。</p> <p>災害はいつやってくるかわかりません。きちんと備え、安心して安全な生活を守るために、避難方法や初動対応について区からわかりやすい説明と指導をお願いします。</p>	<p>台東育英小学校の改修工事に伴い、今年9月から令和5年12月まで、「台東育英小学校」から「浅草中学校」に変更させていただきます。</p> <p>浅草中学校の避難所運営委員会において、運営方法や避難訓練の合同実施等、ご相談させていただきます。</p> <p>また、新型コロナウイルスの感染症対策として、マスクやフェイスガード、アルコール等の除菌剤、体温計の備蓄を行いました。感染症対策の物品内容についても、引き続き避難所運営委員会等にご相談させていただきます。</p>	◇

### ◇浅草橋駅周辺まちづくりについて

質問	回答	対応
<p>昨年も浅草橋駅周辺地域の開発問題や対策について質問し、令和3年度中にまちづくり協議会の設立を目指すとご説明いただきました。</p> <p>一方、その後の調査で、都内各所で大規模な地域再開発事業が進められていることを知りました。東京都の地域再開発事業一覧によると、千代田区・中央区を始め台東区を除くほとんどの区で地域の再開発が進んでいることを知りました。</p> <p>総武線沿線では平井五丁目駅前に地上29階建ての住宅を含む商業ビルが、また、JR小岩駅北口に地上31階建ての住宅を含む商業ビルの建設が進行中です。完成すると、浅草橋の相対的魅力が低下するのではないかと危惧しています。</p> <p>台東区内で現在進行中の再開発案件があれば概略をご説明いただくとともに、地域再開発の必要性についての区のお考えをお聞かせください。</p>	<p>浅草橋駅周辺のまちづくりについては、昨年度、地域の町会長の皆さまを中心に、区が考えるまちの課題と方向性（案）を共有させていただきました。</p> <p>今後、さらに地元のニーズに即したまちづくりを展開していく必要があるため、現在、各町会を中心に、地域の方を主体としたまちづくりの勉強会設立の準備をしています。</p> <p>勉強会では、まちの課題解決の最適な手法についても議論していきたいと考えています。そして、勉強会を通し、地域のまちづくりに対する機運を図ってまいります。</p> <p>今後も皆さまの考えを聞き、周辺のまちづくりの動向を見ながら、地域の特色を生かした魅力あるまちづくりを進めてまいります。</p>	—

◇シニアクラブの運営について

質問	回答	対応
<p>課題の1つとしてシニアクラブ運営の問題があります。地域全体の高齢化に伴い会員の構成は平均年齢80歳を超え、今後もその上昇は避けられません。</p> <p>高齢化に伴い活動内容も自ずと制約され、限られた活動の中で会員が楽しみにしていることは茶話会など飲食を伴う会合です。お茶を飲みながら近況を話し合ったり、コミュニケーションを図ったりすることは、認知症予防、介護予防の観点からも重要な活動と考えていますが、助成金の使途として会食・飲食に関わる費用の支出が認められていません。</p> <p>また、会長の渉外費・旅行経費などの支出が助成金で認められておらず、全てが会長個人の負担となっています。他のシニアクラブの会長との懇親を深め、情報収集や相互理解を図ることは重要な活動です。助成金の使途について、実態に即した見直しをお願いします。</p> <p>そして、助成金交付申請書類についても見直しを検討していただきたいと考えています。現状の提出書類は、「事業実績報告書」「収入支出決算書」「収入支出予算書」「年間事業計画書」「会員名簿」「銀行口座通帳コピー」等多岐にわたっています。それぞれの書類を「社会奉仕活動」「健康を進める活動」「生きがいを高める活動」「その他の社会活動」と分類して記載しなければならず、事務手続きが煩雑で高齢の会計担当者の大きな負担となっています。もっと簡潔に、わかりやすい手続きにできないでしょうか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の流行下で活動に制限があるなか、社会奉仕活動や健康増進活動等、様々な形で区の取り組みにご協力いただいています。</p> <p>シニアクラブの皆さまが引き続き心身の健康を維持できるよう、健康体操のDVDを無償で配布することもできますので、ぜひ活用していただければと思います。</p> <p>助成金については、都からの補助金を一部利用していることから、使途について都の基準があります。使途や申請書類について、台東区シニアクラブ連合会役員の方々と相談しながら見直してまいります。</p> <p>申請書類の作成についてはお手伝いなども行っていますので、担当の健康課までご相談いただきたいと思います。</p> <p>※台東区シニアクラブ連合会常任理事会で、助成対象となる使途や、申請書類に関する意見聴取を行いました。今後も常任理事等に意見聴取や相談を行ってまいります。 (健康課)</p>	<p>○</p>

## 《 浅草寿地区町会連合会 》

日時：11月5日（金） 午後3時から（会 場：寿区民館）

### ◇町会活性化について

質問	回答	対応
<p>令和元年に区で「町会活動に関する意識調査」を実施し、その結果報告がありました。</p> <p>それを見ると、どの地区でも町会員の高齢化や役員のなり手不足、マンション増加による町会の会員の加入促進の難しさ等、深刻な課題は共通しているように思います。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、さらに町会の運営は厳しくなっています。</p> <p>区は調査結果を今後、どのように活用し、様々な課題を解決させていくのか、町会活性化の支援策等を具体的にお聞きしたいです。</p>	<p>町会活性化の支援策は大きく2点あります。</p> <p>1点目は「町会運営の個別支援、並びに町会同士の情報共有」です。町会が直面する様々な課題を解決していくためには、全ての町会に対して一斉に支援を行うと同時に、個々の町会に対し個別に支援していく方法も重要であると考えています。そこで、令和3年度より「アドバイザー派遣」を開始しました。他の町会の取り組みについて共有し、良いと感じた事例は積極的に取り入れ、町会運営に活かしていただきたいと思います。</p> <p>2点目は「町会活動の情報発信」です。調査結果より、「町会がどのような活動をしているのか分からない」と回答した方が多かったため、区公式ホームページで各町会を紹介する作業を行っています。同時に、新たに転入された方々が、自分がどこの町会なのか分かるような準備も進めています。</p> <p>今後、町会同士を結び付けるきっかけづくりの提供についても、検討してまいります。</p>	○

### ◇花と緑で街を飾る運動を

質問	回答	対応
<p>数年前に左衛門橋通り沿いに花壇が設置され、四季折々の花が植えられていて、道行く人達の心を和ませています。しかし、花壇に水やりをする等、お世話する人の負担になっていると思うので、多少でも手数料等をあげていただければ励みになり、協力してもらえるかと思えます。</p> <p>また、浅草寿地区では近年、お寺の所有地だった所が次々とマンションになっており、緑が徐々に減少しています。人々が心にゆとりを持って生活するには、花や樹木の緑は欠かせないと思えます。</p> <p>花と緑で街を飾る運動を台東区の各地区の地域の形状や個性に応じて、さらに充実させて展開していただきたいと思えます。</p>	<p>左衛門橋通りの花壇維持管理については、区からじょうろ等の用具提供をさせていただき、「花の心フラワーサポーター」の皆さまに水やり等のご協力をいただきながら実施しています。</p> <p>今後、寒暑対策に応じた用具等も支援対象品目として検討させていただきます。</p> <p>また、区では条例に基づき、新築工事時に敷地面積に応じた緑化を義務付けており、マンションについても緑化を指導しています。</p> <p>これらに加え、民間施設緑化助成制度や保護樹木制度等も活用しながら、緑の保護、緑化推進に取り組んでいます。</p> <p>今後も花の心プロジェクトを推進し、区民の皆さまに喜んでいただけるよう、花とみどりの創出を図り、心豊かでうるおいのあるまちを目指してまいります。</p>	—

### ◇区長と語る会について

質問	回答	対応
<p>現在、「区長と語る会」は町会長からの質問を受ける形で実施されています。</p> <p>しかし、報告書を見ると、毎年同じような質問が出て、同じような回答をいただくことが多いように思います。</p> <p>以前は区政運営協力の会で区の事業等の説明をいただいていたが、その会の開催が中止となり、区政の方針等を直接聞く機会が無くなってしまいました。</p> <p>会の実施方法の検討が可能であれば、区長が今後2～3年に目指している政策等を20～30分程度説明をいただきたいと思えます。区の方針等を直接聞く機会を希望します。</p>	<p>「区長と語る会」では、各地区町会連合会の皆さまから毎年貴重なご意見・ご要望をいただき、対応可能なものについては早急に対応し、課題については関係機関と解決に向けて取り組んでいます。</p> <p>今後、区の事業等の説明をどのような形でお話しするのが良いか検討してまいります。</p>	☆

## ◇水防訓練の実施について

質問	回答	対応
<p>区が作成した水害ハザードマップによると、台東区の東部分は荒川、隅田川の氾濫が起きた場合に、広範囲にわたり浸水被害が想定されるそうです。全国的に、水害が一旦起きると広大な面積に被害が広がり、多くの人的被害、建物被害、動産被害など住民の生活を脅かす状況になっています。</p> <p>今まで区では防災訓練を行い、災害が発生した場合に対応する訓練を実施してきました。また、各町会、町会連合会などでも独自の防災訓練を実施しています。しかし、その訓練は大地震発生の際に対応する訓練でした。その訓練をそのまま水害発生時に対応させることは難しいと思います。</p> <p>区でハザードマップに対応できる水防訓練のモデル訓練の実施を、各地区の実情に応じて企画していただきたいです。家庭内でできる防水策、浸水時に身を守るための最善策、その際マスクの着用はコロナ禍の中どの時点まで必須か、そして、溺れないために即座に用意できる緊急浮き具の作り方など、実践を交えた説明を直接受ければ印象に残り、いざという時に活用できると思います。</p>	<p>本区でも荒川、神田川、内水、高潮による氾濫や、谷中・池之端地区での土砂災害が想定されるため、大雨や台風への備えの重要性が高まっています。</p> <p>水防訓練の多くは水害発生後を想定し、消防署、消防団、水防団の救助活動を想定して実施しています。</p> <p>区民の皆さまに向けては、防災指導者講習会や出前講座で、ハザードマップの活用や東京マイ・タイムラインの作成方法など、浸水前に安全に避難するための講習を実施しています。出前講座は町会やマンション単位で実施していますので、危機・災害対策課にご相談ください。</p> <p>また、区ではNHKと連携し、区民事務所などの区有施設に氾濫水の画像を重ね合わせ、荒川氾濫時に各所の想定される浸水の深さを表示したポスターを作成しました。このポスターを浸水被害が想定される全町会に配布し、町会掲示板等に掲示していただくことで、区民の皆さまに被害をより実感できるものと考えています。</p> <p>なお、風水害時には災害の状況により、区が避難場所を開設します。区からの情報を確認していただき、速やかに避難していただくようお願いいたします。</p>	<p>—</p>

◇商店街への支援について

質問	回答	対応
<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、区の中の商店街でもコロナ前と比べて、収入が落ち込んでいる店舗が多いと聞きます。</p> <p>蔵前商店街では、複数の店舗が協力し合って、様々な事業展開を試みてきました。飲食店メニューの無料宅配サービスを行ったり、1か所で複数の店舗の商品の受け取りができるようにしたり、その売上げの一部をコロナ対応で過酷な状況にある医療機関への支援のため、寄付をしたりもしました。</p> <p>しかし、未だ先が見えない中、商店街の存続に関して大いに危機感を持っています。</p> <p>区では、今後、どのように商店街活性化への支援をしてくださるのか質問します。</p>	<p>区では都と連携し、近隣の佐竹商店街やおかず横丁などでも行っているような売り出しイベント事業のほか、アーケードやアーチ・街路灯の整備事業など、商店街の活性化を図る取り組みを支援しています。</p> <p>また、地域の暮らしを支える近隣型商店街については、商店街活動や施策に精通したアドバイザーと連携し、それぞれの商店街の実情に応じたアドバイスや支援事業の活用をサポートしています。</p> <p>その他にも、商店街の個店が持つ自慢の逸品・サービスの情報誌「にこまる」を発行し、近隣型商店街の紹介と情報発信も行っています。</p> <p>今後も商店街の実情を把握しながら、意欲的な取り組みを支援してまいります。</p>	<p>○</p>

## 《 雷 門 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：11月8日（月） 午前10時から（会 場：生涯学習センター）

### ◇広報のポスティングについて

質問	回答	対応
<p>緊急事態宣言発令に伴い、「広報たいとう」・「区議会だより」はポスティング業者による委託配布となりました。</p> <p>町会それぞれ事情があると思いますが、役員も高齢化により部数の仕分け等に時間がとられる場合があります。区政情報周知配布のみだと、手間もだいぶ軽減されます。</p> <p>今後、町会により、「広報たいとう」・「区議会だより」の業者によるポスティングへの選択ができるシステムへの移行を検討していただけないでしょうか。</p>	<p>配布方法については、区内各地区の諸事情をよく把握されている各地区町会連合会への委託が最も適していると考えていますが、世帯数が年々増加しているため、配布部数も増えており、町会の皆さまの作業量も増えていることは認識しています。</p> <p>今回いただいたご提案については、どのような配布形態が良いのか、今後検討してまいります。</p> <p>※令和3年12月、全町会を対象に配布形態意向調査を行い、令和4年度から一部の町会で業者によるポスティングを実施します。 （広報課）</p>	☆



◇4階建以上の建物の規制について

質問	回答	対応
<p>近年、町内では4階建以上の高層建物が林立してきている状態です。高層建物は昔ながらの向う三軒両隣りのお付き合いを失わせ、温かい人情交流が悪くなり、淋しい状況となっています。</p> <p>町の中は、日照はもとより、空もなくなり、冷たいコンクリートジャングルの様相となり、住みづらく、このままでは明るい町の発展は望めません。</p> <p>なお、高層建物の住民は町会活動に無関心の方が多いのが現状です。特に賃貸マンションの規制は厳しくしてください。道路幅7m以下の沿道では、4階建以上の建物の規制をお願いします。</p>	<p>「建築基準法」の基準内で、建築可能な建物を区においてさらに制限することは難しいですが、地域の皆さまでまちづくり協議会などを作り、勉強会などは開いています。</p> <p>また、マンション等の居住者の町会加入や活動への理解に関しても課題があると認識しています。区では10戸以上のマンションを建築する際に、「集合住宅の建築及び管理に関する条例」に基づき、入居者の町会加入について町会と事前に協議をするよう事業者に対して依頼しています。さらに、今年度は防災ワークショップの開催等、町会と集合住宅の共助に向けた取り組みを行っています。</p> <p>今後も区民の皆さまが暮らしやすいまちづくりに取り組んでまいります。</p>	△

◇隅田公園内及び周辺の管理について

質問	回答	対応
<p>昨年に続いて引続きのお願いとなります。</p> <p>隅田公園水上バス横の美術作品周辺に多くの路上生活者が寝泊まりしています。若い方も見られ、火を使い調理をしたり、水上バスのトイレを使用して体を洗ったりしています。公園の管理、衛生上の問題もあり、区民が迷惑していますので、人権の問題もあるとは思いますが、区としての対応をお願いします。</p> <p>また、その場所の下側に、リースの自転車を置く駐輪場を計画されているとのことですが、現在は違法自転車が多く停められています。路上生活者の対策、違法自転車の撤去等の対策をした上で、駐輪場についてお話いただきたいと思えます。</p>	<p>区では月4回の特別清掃を行い、不衛生な利用に対する指導を行っています。さらに、月2回の割合で隅田公園一帯の巡回を行い、路上生活されている方に対して地域生活への移行を促しています。</p> <p>今後も特別清掃による不衛生・不適切利用に対する指導や、路上生活されている方に対して巡回相談を行ってまいります。</p> <p>助六夢通り沿いの公園敷地内へのシェアサイクルポートの設置については、改めて会長にご相談させていただきます。なお、今年8月に花川戸公園内の通路に設置したところ、放置自転車が減少しました。隅田公園周辺の対策にも効果があると考えています。</p> <p>※令和3年12月、会長にシェアサイクルポートの設置について経緯を説明し、ご要望等をお聞きしました。（交通対策課）</p>	○

◇コロナ対策について

質問	回答	対応
<p>現在、医療従事者・関係者各位のご尽力並びに国民のご協力により、感染者数が減少傾向にあり、緊急事態宣言も解除されました。</p> <p>しかし、収束したわけではなく、油断は禁物であり、冬場には第6波の襲来も懸念されます。</p> <p>近辺の関係者にもコロナによる死亡者が数名おり、その危険度、怖さを実感しています。こうした中、コロナ対策の基本的な部分は国が行いますが、各地方自治体により、対策に温度差が見受けられます。しかし、好対策の地区への移住は現実的でない以上、居住地の自治体に託すしかありません。今後の台東区のコロナ対策に期待する次第です。</p>	<p>現在、新型コロナウイルス感染者数が減少してきているのは、区民の皆さま、下谷・浅草両医師会、病院関係者、事業者の方々のご協力のおかげです。</p> <p>区では、医療体制の拡充や自宅療養者に対する支援など、国や都とも連携を図りながら必要な取り組みを実施してまいりました。</p> <p>ワクチン接種に関しては、現在、懸念される第6波に備えるため、3回目接種の準備を整えています。</p> <p>今後も医療機関等の関係機関と連携を図りながら、区として必要な準備・周知を行い、皆さまが安心して暮らしていけるよう取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

## 《 竹 町 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：11月9日（火） 午前10時から（会 場：台東一丁目区民館）

### ◇マンションの「防犯カメラ」設置について

質問	回答	対応
<p>当町会では町会内の安全・安心のため、自主的に「防犯カメラ」を50台以上、配置してきました。しかし、近年のマンション建築増加により、新築マンション前が「防犯カメラの空白地域」となり、町会内の安全を担保できません。</p> <p>そこで、区からマンション建築時に、マンション前の道路を撮影する「防犯カメラ」を同時に設置するように指導していただくことはできないでしょうか。</p>	<p>建物内の安全な環境の確保のため、防犯カメラ等の防犯設備に関し、「東京都台東区生活安全条例」で「警察署と協議するよう指導するもの」と定めています。</p> <p>「防犯カメラ」の設置については、建物所有者の任意であることやプライバシー保護の課題があるため、区から指導を行うことは難しいです。</p> <p>区では、町会や商店会等の地域団体が防犯力向上のために防犯カメラを設置する場合は、設置に係る費用の一部を補助しています。補助制度の詳細については、生活安全推進課までお問い合わせいただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、総戸数が10戸以上のマンションに対しては、「集合住宅の建築及び管理に関する条例」に基づき、管理人を駐在させるよう求めており、管理人による適切な維持管理により防犯性の向上を図っています。</p> <p>今後も、安全で安心して暮らすことのできるよう努めてまいります。</p>	△

◇青色パトロール車による巡回アナウンスについて

質問	回答	対応
<p>近頃、前方不注意や信号無視の自転車走行が急増しており、当町会内でも人身事故（当て逃げ）が発生しました。</p> <p>そこで、青色パトロール車両の巡回中に拡声器を用いて、自転車運転者に対する「安全啓発アナウンス」をしていただきたいです。</p>	<p>青色パトロール車は、子供の安全確保と地域の犯罪抑止を目的に実施していますが、今後は自転車運転者に対する安全啓発アナウンスについても検討いたします。</p> <p>また、区では「東京都台東区自転車安全利用促進条例」に基づき、利用者のマナー向上に向け、区内の警察署と合同で小・中学生への交通教育や一般区民向けの講習会を実施しており、そのほか、広報たいとうやケーブルテレビ等による周知啓発を行っています。</p> <p>今後も警察等と連携し、自転車のルールやマナーの啓発に努めてまいります。</p>	<p>☆</p>

◇区立公園内の多国語による掲示について

質問	回答	対応
<p>区立公園内にて、10代前半と思われる外国人児童が深夜11時頃まで遊んでいます。文化の違いがあるにせよ、それを見ている日本人児童が真似をしたくなる感情が出てきても不思議ではありません。</p> <p>すべての児童を事故や犯罪から守るために、公園内に「多国語による利用ルールの掲示」をお願いしたいです。</p>	<p>現在、ごみの持ち帰りなど一般的な公園利用のルールについて、多言語で記載した掲示板を順次設置しており、竹町地区では、御徒町公園と竹町公園、秋葉原練塀公園に設置しています。しかし、時間制限についての記載はないため、注意喚起についてなど、会長にご相談させていただきます。</p> <p>また、区では24時間体制で区内公園の巡回警備を行っており、迷惑行為等を確認した場合には注意をしております。</p> <p>そのほか、ルールやマナーをはじめとした日常生活に必要な情報については、多言語情報紙や生活便利帳などを活用し、区民生活の向上を図ってまいります。</p> <p>※令和3年11月、会長に竹町公園の注意喚起看板について説明しました。今後も、巡回警備より注意・指導する旨をお伝えしました。（公園課）</p>	<p>—</p>

◇一人暮らし高齢者等の健康状態確認について

質問	回答	対応
<p>一人暮らしの高齢者等の健康状態（脈拍、心拍数、体温等）を、インターネットで常時確認できるシステムを構築していただきたいです。</p>	<p>一人暮らしの高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域の皆さまや警察、消防、民生委員等の関係機関が連携し、地域全体で高齢者の見守りに取り組んでいます。</p> <p>急病などの緊急事態時には、専用通報機から発報することで、看護師等が待機する民間の受信センターにつながり、状況に応じて救急車の要請や安否確認の人員派遣を行う「民間緊急通報システム」を実施しています。希望者には健康相談や定期的に電話をいたします。申込みについては、担当の高齢福祉課にご相談ください。</p> <p>今後、さらに高齢者の見守り体制を構築するため、インターネットの活用について検討してまいります。</p> <p>※令和3年12月、「民間緊急通報システム」について広報たいとうやケーブルテレビ等でPRしました。（高齢福祉課）</p>	<p>—</p>

## 《 上 野 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：11月9日（火） 午後1時から（会 場：上野区民館）

### ◇情報発信について

質問	回答	対応
<p>コロナワクチン接種で日々方針が変わり、情報を知るために区のホームページを見ました。そして、台東区のTwitterの存在を知りました。フォロワーが約1.4万人とのこと。また、たくさんのアカウントがあることも知りました。しかし、まだまだ知らない人も多いはず。有益な情報が少しでも多くの人に伝わるようお願いします。</p>	<p>新型コロナウイルスワクチン接種については、接種の予約やワクチンの供給量など様々な情報をいち早く区民の皆さまにお伝えするため、広報たいとうや区公式ホームページ、区公式Twitter等で情報を発信しています。</p> <p>昨年からは開始した区公式LINEについては、約8,000人の方にご利用いただいています。</p> <p>今後もより多くの方に有益な情報を届けるため、広報たいとうや区公式ホームページ、ケーブルテレビ等で一覧を掲載するなど、様々な機会を捉え、区のSNS等の周知に取り組んでまいります。</p>	—

#### ◇上野の街の活性化支援について

質問	回答	対応
<p>コロナ禍が続いて、来街者が減っています。上野の街に来街者が増えるような魅力あるまちづくりやPRに力を入れてもらいたいです。</p>	<p>コロナ禍においても上野の街にお越しいただくためには、感染対策のしっかりした街であることをPRしていくことが重要です。</p> <p>そのために、区では新しい日常に取り組んでいることを掲示するステッカーの配布や、区の産業情報誌「ネットワークたいとう」に店舗情報を掲載する「新しい日常取組店舗応援事業」を進めています。</p> <p>そのほか、Instagramを活用した「#たいとう愛」において、区内事業者の感染対策等の取り組みを積極的に発信し、コロナ禍でも安心・安全な街をPRしています。</p> <p>さらに、将来を見据えたまちづくりを推進するために策定した「上野地区まちづくりビジョン」において、将来像として掲げた『杜の文化とまちの賑わいが共演する舞台“上野”』の実現に向けて、多様な主体の皆さまと協働で魅力あるまちづくりを実現できるよう検討を進めているところです。</p> <p>今後も台東区をPRする等、来街者回復のため取り組んでまいります。</p>	○

#### ◇防災無線について

質問	回答	対応
<p>数年前にアナログからデジタル化へ更新し、屋外スピーカーの交換を行ったと思います。しかし、場所によっては未だに聞き取りにくい場合があります。他に情報を得る手段はあると思いますが、せっかく流した情報が聞き取れないのでは意味がありません。スピーカーを増やす等検討していただけないでしょうか。</p>	<p>防災行政無線のデジタル化工事は、令和2年度末に完了しましたが、ご指摘のとおり周辺の建物状況や住環境、気象状況によって一部聞き取りづらい場合があります。今後も放送音量やスピーカーの方向の調整、聞き取りづらい地域にスピーカーの増設を検討する等、改善に向けて取り組んでまいります。</p> <p>なお、区公式ホームページや「自動電話応答サービス」、「たいとう防災気象情報メール」、防災アプリ「台東防災」にて防災行政無線の放送内容を確認することもできますので、ぜひご利用ください。</p>	○

◇動物園通りの植栽について

質問	回答	対応
<p>動物園通りの植込みに雑草がはびこり、自転車走行に邪魔で危険な状態となっています。以前要望し、対応していただきましたが、夏の時期には再びはびこっています。</p> <p>さらに、雨が多い時期は落ち葉で柵が詰まり、水たまりが車線半分まで塞いで危険です。定期的な管理を行っているのか、行っているならその頻度をお聞きしたいです。</p>	<p>区が管理する植樹帯の除草作業は、年間3回実施しています。動物園通りについても、雑草が茂り危険な状態にならないように4月、7月、9月頃に除草作業をしています。</p> <p>また、車道の落ち葉については、機械による清掃をおおむね5日ごと、人力による清掃を5日ごとに行っています。なお、落ち葉の多い9月から11月の間は、人力による清掃を2日おきに実施しています。</p> <p>今後も除草作業や落ち葉清掃を行い、植樹帯の美化や安全の確保に努めてまいりますので、お気づきの点がございましたら植樹帯の除草は公園課、車道の落ち葉清掃は土木課までお知らせください。</p>	<p>—</p>



## 《 清 川 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：11月10日（水） 午後4時から（会 場：台東リバーサイドスポーツセンター）

### ◇告知用ポスターについて

質問	回答	対応
<p>町内の掲示板に掲示するよう、月2回台東区から要請があるポスターについてですが、ポスターの種類も多く、掲示板の面積に限りがあるので、全て掲示することができません。</p> <p>また、紙質的にも雨風に耐えられないものもあり、掲示板が汚らしく見えることもあります。紙質・大きさ・枚数など、本当に周知したいのか甚だ疑問と言わざるを得ません。周知の優先順位付や紙質・枚数等考慮の上、製作・配付をお願いします。</p>	<p>町会の掲示板は区民の皆さまへの周知手段として重要な役割を果たしています。</p> <p>ポスターについては、サイズをB3までに限定することや、区の後援のない外部の事業は受け付けないなどの対応を行っています。</p> <p>イベントの多い時期などには枚数が多くなることもあるので、今後、改めて周知の必要性を熟慮し、雨風に耐えられる紙を使用してまいります。</p>	◇

### ◇ふるさと納税について

質問	回答	対応
<p>コロナ禍の中、地場産業（皮革関連等）は低迷しています。また、観光産業も世界的なパンデミックの中、インバウンドの需要もまだ何年かかるか分からない状況です。</p> <p>お隣の墨田区では、ふるさと納税を通じて、ものづくりの街の魅力発信等で良い結果が出ているように思われます。</p> <p>そこで、台東区でも地場産業（靴・革小物等）・伝統工芸品・観光文化（博物館・美術館・動物園等）・老舗（お菓子・料理店）のコロナ後の起爆剤にふるさと納税が寄与できればと思っています。台東区でも取り入れていただけないでしょうか。</p>	<p>返礼品を活用したふるさと納税については、10月20日より43事業者、185件の返礼品を民間のサイトへ掲載し、受付を開始しました。</p> <p>返礼品については、区内事業者のご協力により、地場産品や伝統工芸品、観光文化体験等、台東区の魅力を伝えられる返礼品があります。</p> <p>今後もふるさと納税を活用した区のPRや産業支援、及び地域経済の活性化を図ってまいります。</p>	○

### ◇町会定例会資料ペーパーレス化について

質問	回答	対応
<p>毎月の地区町連の定例会における区からのお知らせのプリントや資料が多く、その保存に苦慮していますが、後日必要が生じた場合のことを考えると容易に破棄できません。</p> <p>区ホームページにおける清川地区町会連合会のページから議題・資料・連絡事項等を見ることができればありがたいです。セキュリティ等の問題点等もあると思いますが、資料のペーパーレス化についてご検討をお願いします。</p> <p>例えば、定例会の会議資料をスクリーンで説明し、手元の資料は希望でプリントアウト、またはタブレットやスマートフォンに出力できると良いと思います。</p>	<p>区役所の業務において、文書の電子化や電子決裁を進め、ペーパーレスを推進しているところです。</p> <p>台東区町会連合会においても、9月からの定例会の会議資料を電子化しました。電子化した資料は、メール等でお渡しができますので、清川分室にご相談いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、今年度、東京都では「地域の底力発展事業助成」などの支援事業において、デジタル活用支援を始めましたのでご活用いただければと思います。</p>	—

◇マンション住民の町会参画について

質問	回答	対応
<p>現在、区内でもマンションの新築工事が多数見受けられます。清川地区でもこの数年で非常に増えています。</p> <p>町会活動においては、高齢化が進み将来が思いやられます。これからは、マンションの住民の方の協力なしでは運営できないと思います。マンション住民の地域参画に対する政策を強く打ち出す施策をお聞かせください。</p> <p>また、事業者との協議については、建てる前の事業者だけではなく、建てた後に変更になったマンションについても、区で対応してほしいです。</p>	<p>区では、「集合住宅の建築及び管理に関する条例」に基づき、10戸以上の集合住宅を建築する事業者に対して、町会加入について町会と事前に協議をするよう依頼しています。さらに、町会の重要性の理解を促し、町会加入について協力を求めるとともに、消極的な場合には再検討していただけるよう依頼をしています。</p> <p>そのほか、町会の活動を広く周知するため、区公式ホームページに各町会を紹介するページや、新たに転入された方々が、自分がどこの町会なのかが分かるようなページの作成を進めています。</p> <p>また、11月3日には防災をテーマにワークショップを開催し、町会と集合住宅居住者との連携強化をどのように進めていけるかを検討しました。</p> <p>さらに、令和3年度よりアドバイザーの派遣を行い、集合住宅居住者だけでなく、町会活動への関心や参加を促進するための取り組みを進めています。</p> <p>区としては、引き続き集合住宅居住者に対する加入促進にも努めてまいります。</p> <p><b>【区民部長】</b> マンションを建てた後の事業者についても今後対応してまいります。</p>	<p>—</p>

◇山下清 生誕100周年について

質問	回答	対応
<p>ちぎり紙細工やペン画で有名な山下清さんは、1922年（大正11年）に浅草区田中町（現在の台東区日本堤）で生まれ、幼少期には石浜小学校に通い、この清川地区で過ごしました。そして、来年2022年には生誕100周年を迎えます。</p> <p>そこで生誕100周年を記念して、台東区が生んだ芸術家としてイベントや記念館（例えば、たなかスポーツプラザ内に記念館または記念室のようなもの）などができると、地域も一層活気づくと思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>山下清さんは、その作品の素晴らしさだけでなく、映画やテレビドラマなどを通じて描かれる人物像が多くの人々に知られ、愛されている方であると思います。</p> <p>国内には実際に居住された場所など、創作に関わる様々な所縁の地が存在し、長野県茅野市や大分県由布市には作品を常設展示する美術館がございます。</p> <p>今後、山下さんが区内に居住された当時の生家や区内における作品等資料の所在など、本区との所縁について調査していきたいと思います。</p> <p>※地域の方からの情報提供や図書等の資料を調査した結果、区内の生家の所在や通学した学校等について、確証は得られませんでした。石浜小学校に一定期間通学されていたものと推定されるため、機会をとらえて校内で周知していただくよう、学校にお願いしました。（文化振興課・庶務課）</p>	<p>○</p>

## 《 馬 道 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：11月11日（木） 午後3時から（会 場：台東区民会館）

### ◇新型コロナウイルスワクチン接種済証の活用について

質問	回答	対応
<p>台東区では5月下旬から高齢者に対するワクチン接種が開始されました。近隣の区と比べると開始が遅かったようですが、その後は接種も順調に進み安心しています。</p> <p>そして、2回目の接種終了時には、ワクチン接種済みのシールを貼った接種済証が配付されています。</p> <p>国の方でも、行動制限緩和の方針が示されましたので、この接種済証を活用し、接種済証を提示された方については、区内の飲食店や居酒屋などでの利用制限を緩和し、さらに、接種済証を提示した方に何か特典のあるサービスを提供するお店を区がホームページで紹介し、補助するなど支援を行ってはいかがでしょうか。</p> <p>区内経済の活性化につながると思いますので、区のお考えをお聞かせください。</p>	<p>国は、9月の「新型コロナウイルス感染症対策本部」において、「ワクチン接種が進む中における日常生活回復に向けた考え方」として、行動制限緩和の方針を示しました。</p> <p>その中でも示されている、第5波のような医療の逼迫による影響を回避し、区民の皆さまの安全安心を確保できれば、感染対策と地域経済活動を両立させることが可能であると考えています。</p> <p>一方、接種証明の活用として、東京都では飲食店での割引や、様々な特典が提供される「TOKYOワクションアプリ」を開始し、国ではワクチンパスポートの電子化など「接種証明アプリ」の運用を12月から開始する準備をしています。</p> <p>今後の国や東京都の動向などを注視しながら、区としてどのような取り組みができるか考えてまいります。</p>	—

◇キャッシュレス決済について

質問	回答	対応
<p>台東区では、本庁舎や区民事務所の窓口での手数料等の支払いにキャッシュレス決済が導入されました。区民サービスや利便性の向上という点で、素晴らしい取り組みだと思えます。</p> <p>そこで、制度の内容と現在の利用状況についてお聞かせください。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の対策として、現金を触らずに決済が行えるキャッシュレス決済を令和3年3月より導入しました。</p> <p>現在、住民票の写しや税証明取得に関わる証明書交付手数料、文化施設の入館料について、クレジットカードやSuica、PASMO、PayPayなど、幅広い種類の決済でキャッシュレスに対応しています。</p> <p>また、スマートフォンなどのアプリを使用して税や保険料のお支払いができるようになり、さらに、12月からはご自宅等から施設使用料をクレジットカードでお支払いすることができるよう、公共施設予約システムのオンライン決済を導入します。</p> <p>利用状況については、一部の文化施設では利用率が20%を超えていますが、全体としては10%程度で周知が足りないと思われるため、引き続き案内していきます。</p> <p>今後も区民の皆さまの利便性向上のため、キャッシュレス決済を推進してまいります。</p> <p>※令和3年12月、公共施設予約システムのオンライン決済を開始しました。また、利用率向上のため、窓口での分かりやすい掲示とともに、区公式ホームページや区公式Twitterで周知しました。（情報政策課）</p>	<p>—</p>

◇防災訓練について

質問	回答	対応
<p>東日本大震災の発生から今年で10年となり、あらためて防災意識の向上が必要と考えています。</p> <p>区では昨年、町会に対するアンケート調査を実施され、総合防災訓練の見直しを行いました。今後は町会向けにどのような防災訓練を実施していく予定ですか。</p> <p>区としてのお考えをお聞かせください。</p>	<p>総合防災訓練を見直し、当面の間は避難所の開設、通信訓練など発災時の初動対応を強化することを目的として、区・避難所運営委員会・関係機関が合同で総合防災訓練を実施します。</p> <p>区民の方を対象とした初期消火訓練や地震体験については、町会主体で行う町会単位防災訓練で実施し、町会の要望に応じて職員を派遣し、起震車体験訓練や防災出前講座を実施してまいります。</p> <p>さらに、例年3月に実施している防災フェアでは、防災意識の啓発として、消防・警察・水道局をはじめとした防災機関の展示・体験を実施していく予定です。</p> <p>今後も町会の皆さまや関係機関と連携をとり、訓練を行うなど防災意識の向上を図ってまいります。</p>	<p>—</p>

◇コロナ禍における経済支援について

質問	回答	対応
<p>馬道地区は、ひさご通り周辺と千束通り、浅草寺裏を中心に、飲食店や料亭、居酒屋などが点在しています。また、地場産業である皮革製品を扱う事業所も数多くあります。</p> <p>しかし、昨年からの新型コロナウイルス感染拡大による営業時間の短縮要請により、飲食店などでは客足の減少に苦しんでいます。また、外出の自粛により人々の行動範囲が狭まり、皮革関係の店でも製品が売れないなど、経済活動が停滞しています。</p> <p>そこで、区内の活性化のための台東区独自の経済的支援策についてお考えをお聞かせください。</p>	<p>区では、中小企業者の返済負担の軽減を目的とした「新型コロナウイルス感染症対策借換特別資金」の融資や、業況が悪化した事業者者に資金繰りを支援する「経営持続化特別資金」を実施しています。また、国や都の補助金等に関する相談に応じる「特別相談窓口」のほか、中小企業診断士が経営相談を行う「緊急経営相談ダイヤル」を開設しています。</p> <p>また、Instagramを活用し、区内事業者の感染予防の取り組みを紹介するとともに、事業者のアカウントの存在を広く伝える目的で「#たいとう愛」を運用しており、講習会などを通じて区内施設・事業者の感染対策を支援し、安全に観光ができる環境を整えています。</p> <p>さらに、江戸をはじめとした歴史・文化をテーマとした学習型旅行商品や、地場産業の体験型旅行商品等を企画・開発し、販売ルートに乗せることで広く地域資源の周知を図れるよう旅行会社と連携協定を結びました。</p> <p>今後も感染状況等を鑑み、地域の経済支援と感染拡大防止を両立させた取り組みを実施してまいります。</p>	<p>○</p>



## 《 東 上 野 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：12月3日（金） 午後4時から（会 場：株式会社オーラム）

### ◇水はけの悪い側溝について

質問	回答	対応
<p>区内には水はけの悪い側溝がいくつか見受けられます。白鷗高校前的大通りから永寿病院に曲がる道の側溝などは、いくつか段差があり、雨のたびにその段差部分に雨水がたくさん溜まってしまい、雨水桝まで自然に流れていきません。</p> <p>場所によっては、真っすぐ綺麗に直っている部分もありますが、不具合のある部分については順番に直していただけるものでしょうか。</p>	<p>ご指摘の区道について区でも水はけが悪い場所を確認しました。会長と一緒に現地を確認させていただき、今後の対応についてご相談させていただきたいと思います。</p> <p>区では区道について、舗装や側溝等の状況を勘案し、計画的に改修しています。また、職員が区内を点検し、部分的に傷んだ箇所を発見した場合や、区民の方等から連絡があった場合にはその都度補修し、良好な道路環境の維持に努めています。</p> <p>※令和4年2月、会長の立会いのもと現地を確認しました。（土木課）</p>	◇

◇時計の設置場所などについて

質問	回答	対応
<p>現在、台東区役所の庁舎1階にある時計は、災害時に庁舎1階に避難者が訪れた場合、今の設置場所では確認がしづらいのではないかと思います。今後、時間を知るにあたって、便利な場所に何台か時計を設置する考えがあるかどうか、知りたいです。</p> <p>また、旧下谷小学校の校舎には校庭に向いた側に時計が2つありますが、1つは止まっています。避難者はいずれを正しいと判断したらよいのでしょうか。</p>	<p>区役所1階の時計については、現在、ご来庁の皆さまにご覧いただきやすいよう、戸籍住民サービス課窓口上部に2台、東西エレベーターホール上部に各1台の計4台を設置しています。</p> <p>旧下谷小学校校舎の時計について、北側設置の時計は正しい時刻を示していましたが、西側の時計は故障して止まっており、古く修理も難しい状況であるため、皆さまが混乱しないよう文字盤をふさぎました。</p> <p>必要に応じて補完的に設置できる時計も用意していますので、災害時などにはそれらも活用して対応してまいります。</p>	<p>—</p>

◇コロナ対応にかかる発信の工夫について

質問	回答	対応
<p>昨年からのコロナ対応について都内23区の取り組み方に違いがありました。台東区もいろいろ対応されていたと思いますが、正直、私達区民に伝わってきませんでした。</p> <p>もう少し台東区として発信力を高める必要があると感じました。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の対応など、区政情報を区民の皆さまに確実に届けることは重要です。</p> <p>区では、広報たいとうや区公式ホームページ、区公式LINE、区公式Twitterなど、様々な媒体を活用し、それぞれの特性を活かした広報活動を行っています。</p> <p>しかしながら、今回のご指摘のとおり、情報が伝わっていない状況がございます。今後より一層、区の様々な広報媒体を複合的・多重的に活用し、効果的な情報発信を行うとともに、新聞やテレビなど、報道機関へ積極的な情報提供を行い、区の情報発信力の強化に努めてまいります。</p>	<p>◇</p>

◇空き家・空き店舗の利用活用と店舗出店希望事業とのマッチングについて

質問	回答	対応
<p>古くからの住民が減少にある中で、マンションが増え台東区内の世帯数や居住人口が増える喜びの反面、昔からの街並みが変わってしまう寂しさも感じています。下町の建物には、戦争時のエピソードがある家なども残っています。</p> <p>都市開発会社は空き家が増えてくると、住人に立ち退いてもらってでもマンション建設に踏み出そうとしている現状があります。</p> <p>一方、台東区内でオフィスや店舗を探している人も多く、特に使われていない古民家をリノベーションして使いたいという需要は数多くあります。空き家をリノベーションしてそこに新たなビジネスの場が生まれたら、景観を守りながらも地域活性化につながると思います。</p> <p>今後、台東区として空き家の再利用や利用希望者とのマッチング等、今ある建物を活用するお考えをお聞かせください。</p>	<p>商店街等の空き店舗対策では、区内の空き物件等で新店舗を開設する際、改修費等の一部を助成する「アトリエ・店舗出店支援事業」や、商店街の空き店舗を活用している事業者の賃料の一部を助成する「商店街空き店舗活用支援事業」を実施しています。</p> <p>毎年募集しており、「アトリエ・店舗出店支援事業」では昨年度、区内に初めて出店したり、アトリエを改装したりする、革製品の製造や販売を行う7件の中小企業等に対して支援を行いました。また、4件の中小企業者等が「商店街空き店舗活用支援事業」を活用して事業を始めています。</p> <p>これらの支援の後押しもあり、実際に御徒町から蔵前における地区では、民間事業者が主体的にリノベーションを実施して地域の活性化を生み出しています。</p> <p>ご提案のマッチング等、空き家の活用については、地域の特性を踏まえたまちづくりを進めていく際の手法のひとつとして、今後も研究してまいります。</p>	<p>○</p>

## 《 入 谷 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：12月6日（月） 午後4時から（会 場：入谷地区センター（仮事務所））

### ◇旧坂本小学校跡地の利用計画について

質問	回答	対応
<p>旧坂本小学校を現在利用している団体に対して、解体・広場整備中に利用制限や利用場所の担保がありますか。</p> <p>当面は更地にして暫定活用すると聞いていますが、夏季納涼大会等地元のイベントの利用や町会防災備蓄倉庫の設置はどうかになるのでしょうか。</p> <p>また、本格整備はいつ頃になるのか教えてください。</p>	<p>今年度中の解体工事開始に向け、現在利用している団体へは、令和3年12月末までの利用をお願いしています。</p> <p>また、令和5年度には暫定活用として整備した広場で、解体前に実施していたイベントの利用や、防災備蓄倉庫の設置ができるよう関係町会と相談して決めてまいります。</p> <p>現在利用している団体の解体・広場整備中の利用場所については、他の学校や区内のスポーツ施設をご案内することもできますので、経理課までご連絡いただければと思います。</p> <p>本格活用の時期については明確にお答えすることはできませんが、暫定活用中に行政需要を見極め、本格整備内容を検討していく予定です。</p>	—

◇高齢者の一人暮らしについて

質問	回答	対応
<p>高齢化や未婚化も相まって、単身で最期を迎える人が増える傾向です。身寄りのない人も希望どおり葬儀を行えるよう支援する自治体もあるようです。</p> <p>台東区も比較的所得の低い方に限り、生前にある程度の金額を払えば、葬儀や納骨を行う制度があると安心して住むことができると思います。</p>	<p>ご自身の葬儀等を心配されている方もいらっしゃると思います。</p> <p>ひとり暮らしや身寄りのない方が、最期を迎えられた際には、病院や警察から連絡を受け、区が火葬等を執り行っています。</p> <p>現在、ご提案の制度は区で実施していませんが、今後、区内の葬祭業団体に生前契約を始めとした葬儀に関する状況などを伺い、ご相談をいただいた際に情報提供できるよう取り組んでまいります。</p>	◇

◇マイナンバーカードの活用について

質問	回答	対応
<p>デジタル庁が発足し、政府もこの分野に大変力を入れています。中でもマイナンバーカードの活用が種々取り沙汰されています。</p> <p>区として普及又利用を今後どのように考えているのか、お聞かせください。</p>	<p>令和3年3月に策定した区の情報化推進計画においても、マイナンバーカードの普及促進を掲げています。</p> <p>普及率については11月1日現在、全国平均が約39%に対し、区では約47%であり、全国と比べても普及が進んでいる状況です。</p> <p>マイナンバーカードを活用した全国的な取り組みとしては、10月から健康保険証としての利用が本格導入されました。区内では11月14日現在、台東病院など14の医療機関、11の薬局でご利用いただけます。</p> <p>また、12月からは「ワクチン接種証明書」の電子版もスマートフォンの専用アプリから申請や取得、表示ができるようになる予定です。</p> <p>そのほか、区では住民票の写しと印鑑登録証明書のコンビニ交付や、児童手当・子ども医療費助成等の電子申請サービスでマイナンバーカードを活用しています。</p> <p>引き続き、マイナンバーカードの普及とカードを活用した手続の拡大を図り、区民サービスの向上に努めてまいります。</p>	☆

◇入谷地区区有地の中長期視点に立った活用について

質問	回答	対応
<p>旧下谷警察署仮庁舎跡地、旧坂本小学校跡地活用、入谷老人福祉館建替え等、区有地活用が場当たりの的であると感じています。</p> <p>区で施設整備担当を設置したことは承知していますが、今後加速する高齢者の介護施設の重要性は増しています。</p> <p>松が谷福祉会館の建替えは公共福祉施設の地域バランスを考慮することが必要です。</p> <p>区有地の有効活用は極めて重要であり、当該地域・町会へしっかりしたビジョンを含めて立案し、説明していただきたいです。</p>	<p>区内の大規模用地については、平成23年に策定した「大規模用地の活用構想」の中で、活用の考え方として「台東区基本構想等実現のための活用」、また「将来の行政需要へ対応するための用地確保」が示されています。</p> <p>北上野二丁目の旧都立上野忍岡高校跡地の活用については、現在の松が谷福祉会館の機能を充実させるとともに、子育てや子供の発達、若者のひきこもりなどの相談や支援という新たな機能を有する施設を考えています。現在、施設に付与するこれらの機能について、具体的なイメージを検討しています。</p> <p>今後、整備計画を進めていく上で、区の考え方を適切にご説明し、まちづくり協議会等からいただいたご提案も踏まえ、地域のご意見を伺いながら検討を進めてまいります。</p> <p>※令和3年12月、町会理事会において今後の対応について確認しました。</p>	<p>☆</p>

◇ポイ捨て行為等の防止に関する条例の強化について

質問	回答	対応
<p>令和3年4月から条例改定がありましたが、ポイ捨て状況が改善されていません。</p> <p>千代田区の事例では、マナーからルール必要性で、「ポイ捨て禁止条例」から「生活環境条例」へ格上げして、罰金を伴う制度変更がありました。</p> <p>台東区にあっても更なるポイ捨て対策強化が必要です。具体的には、マナー指導員の増強と権限付与をしてほしいです。そして、学校・幼稚園・保育園・児童公園・公共スポーツ施設等の周辺地域を路上禁煙にしてほしいです。</p> <p>ポイ捨て・吸い殻で悩まされている地域住民の声を条例に反映していただきたいです。</p>	<p>区では、令和3年4月より「東京都台東区ポイ捨て行為等の防止に関する条例」を改正し、ポイ捨て禁止に加え、歩きたばこを禁止するとともに、朝7時から朝9時までを喫煙禁止時間として路上など公共の場所における喫煙を禁止としました。</p> <p>しかし、「健康増進法」の改正や「東京都受動喫煙防止条例」の全面施行により、屋内での喫煙が原則禁止となったことから、屋外での喫煙の増加や、依然としてマナーが守られていない状況があるため、今後もさらなる分煙対策が必要だと認識しています。</p> <p>マナー指導員は、放置自転車対策業務と兼務で約80名が巡回し、さらに喫煙マナーに特化した指導員を6名配備し、マナー指導を行っています。今後もより効果的な配備体制を検討し、マナー啓発の強化を図ってまいります。</p> <p>また、学校や幼稚園、公共スポーツ施設など特に配慮が必要な地域を「路上喫煙禁止」と指定してしまうと、民間駐車場など区で禁止できない場所に喫煙者が集まってしまうなどの課題があり、慎重な対応を取らざるを得ない状況です。</p> <p>今後も屋外における喫煙マナーの指導を行い、引き続きマナー向上と喫煙環境の整備に努めてまいります。</p>	<p>△</p>

◇閉校を利用したコロナ対策について

質問	回答	対応
<p>都内では新型コロナウイルスの新規感染者が、8月に4千人とか5千人と出ており、台東区も多い状況でしたが、区では自宅療養中の人は少なかったのでしょうか。</p> <p>早急に解決には至らないと思われませんが、自宅療養中で入院待機中の一時預かり場所として、閉校を使用することはできないでしょうか。問題点は閉校隣接住民からの承認・賛同が得られるか、校舎の入口等の設備、専門医及び看護師の確保等々あり、時間の問題もありますが、教室・講堂・校庭を利用し、軽症・中等患者・入院待機者に分けて、一時預かることができれば、家庭内感染も防ぐことができ、重症化も抑えられ、家族も安心できると思います。</p> <p>また、PCR検査などの全てを無料化し、陽性者の早期発見からの陰性化が必要だと感じていました。</p>	<p>区では、自宅療養ではなく、原則として医療機関や宿泊施設での療養を進めています。しかし、陽性者が急増した8月下旬は、医療機関や宿泊療養施設が不足し、数日間自宅でご療養いただいたこともありました。</p> <p>ご提案の閉校施設での一時預かりについては、医師や看護師等医療従事者の確保や、衛生面の対策、医療機器の手配などから難しいと考えます。</p> <p>現在東京都では、第6波に向けて病床数や臨時の医療施設を増やす準備をしており、区でも関係機関と連携し、自宅療養者に対する支援や後遺症への支援等を行っています。</p> <p>また、PCR検査については、医師が必要と認めた場合や濃厚接触者などは費用がかからず検査できます。</p> <p>引き続き、区民の皆さまの安全安心を確保するため、全力で取り組んでまいります。</p>	<p>△</p>



## 《 谷 中 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：2月28日（月） 午後2時から（会 場：谷中区民館）

### ◇老朽化した建物の保存・活用について

質問	回答	対応
<p>言問通り沿いの上野台地の入口に立つ古家。浅草方面から上野公園・谷中・根津・本郷への峠の道しるべとして、タクシーやドライバー、散策の人々にとってもありがたい存在です。</p> <p>およそ100年はたっている建物で、マンション等コンクリートの家々が多くなっている現代、私たち町会にとっても重要な拠点で、町会の人々との交流・連結場所として、また町会の備品の保管場所として現在借りています。</p> <p>少人数での会議なども古い日本家屋ならではの雰囲気の中、この家の主の老猫も交え無理なく和やかに自然な形で進められ、町会運営に大いに役立っています。</p> <p>老朽化した建物を手直ししながら保存できるような、今までにない仕組みを作っていただけないでしょうか。アドバイスをお願いします。</p>	<p>区では現在、古い日本家屋ということで補助を行う制度はありませんが、首都直下地震等による建物倒壊等の被害を最小限に抑えるため、昭和56年以前に建てられた住宅の耐震改修工事に対する助成を行っています。</p> <p>もし、町会事務所として活用されるのであれば、既存の建物を購入する代金の経費の一部を助成します。</p> <p>今後、建物をどのようにしていきたいかなど、家主さんにご相談していただきたいと思っています。</p> <p>町会事務所の助成等については区民課、お話の家屋の今後については地域整備第三課にご相談いただければと思います。</p> <p>※令和4年3月、地域整備第三課より町会に町会事務所の助成等の説明を行いました。</p>	—

### ◇通学路の再点検について

質問	回答	対応
<p>千葉県八街市の通学路の事故の教訓から質問します。</p> <p>忍岡小学校までの通学路には、歩道もありますが、歩道もガードレールもない道、路側帯のみ、それすら無い道もあります。そのような道路で通学している児童の安全確保のために、通学路の再点検などの配慮をお願いします。</p>	<p>令和元年5月に滋賀県大津市で歩道を通行中の園児らが死傷した事故を受け、未就学児の移動経路125箇所、児童生徒の通学経路76箇所について、学校園を含む関係機関と合同点検を実施し、すべての危険箇所に注意看板や防護柵の設置など対策を行いました。</p> <p>また、令和3年6月に千葉県八街市で児童らが死傷した事故を受け、改めて各学校園に交通安全指導を依頼しました。そして、新たに危険と感じる場所について54箇所の報告があり、学校園、国、都、警察、関係所管と連携し合同点検を行い、学校園による交通安全指導の徹底など対応を実施しています。</p> <p>なお、忍岡小学校までの通学路では、危険と感じる場所について、令和2年度に4箇所、今年度新たに1箇所報告があり、学校による児童への安全指導を行いました。</p> <p>引き続き、児童生徒園児の安全を確保し、交通安全を徹底してまいります。</p>	○

### ◇防犯灯の設置について

質問	回答	対応
<p>既設の防犯灯の灯りが届かない暗がりの解消について質問します。</p> <p>昨年、既設の電柱を利用して新たに設置していただいた防犯灯は、コンパクトですが広角で非常に明るいものでした。</p> <p>設置場所の問題があると思いますが、他の場所にも電柱を増やさずに同じような防犯灯の増設、もしくは付け替えができないでしょうか。</p>	<p>区では私道の夜間の安全を確保するため、防犯灯の設置助成を行っています。防犯灯には電柱に取り付けるものと、単独でポールに設置するものがあり、新設や改修を行う場合は、町会と区で立会いの上、申請をいただければ、町会の負担なしで設置することができます。</p> <p>電柱を増やさずに同じような防犯灯の増設、または付け替えをするには、設置間隔など地域ごとの状況がありますので、確認し、担当の土木課から会長に連絡します。</p> <p>※令和4年3月、会長に私道防犯灯設置助成制度の説明を行いました。（土木課）</p>	◇

◇独居老人の安否ケア確認活動の取り組みについて

質問	回答	対応
<p>本町会では独居老人の安否ケア確認活動として、民生委員と友愛訪問員による協力体制の形成や、真島クラブと連携し独居会員情報の共有化、スマホLINE利用の学習会の実施を考えています。</p> <p>そして、コロナ禍で外出を控え、足腰が弱まり、会話が極端に減少している独居老人の方々に、LINE等の機能を活用し、ヒューマンリレーションを新規に構築することで、孤独化・孤立化から脱却していただく手立てとしたい。共助の新時代のあり方として町会を単位として構築したいです。</p> <p>区とも連携を図り実現に向けて可能性を探りたいと思っておりますが、現在、区では独居老人に対しどのような支援を行っているのか、さらに上記の町会の取り組みを実現するために区からどのような協力をいただけるか教えてください。</p>	<p>区では、ひとり暮らしの高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、令和4年度に、離れて暮らす家族とテレビ電話でコミュニケーションがとれる「コミュニケーションロボット」の購入費用の助成を開始します。</p> <p>そのほか、急病などの緊急事態時には、専用通報機から発報することで看護師等が待機する民間の受信センターにつながり、状況に応じて救急車の要請や安否確認の人員派遣を行う「民間緊急通報システム」を実施しています。希望者には健康相談や定期的に電話をいたします。申込みについては、担当の高齢福祉課にご相談ください。</p> <p>また、スマホをお持ちでない方や初心者の方を対象に、スマホの基本操作等を学習する講座を実施しています。毎年実施しており、開催する際は、広報たいとうや区公式ホームページでお知らせします。スマホを利用した学習会の実施を考えているとのことですので、操作などに不慣れな方がいましたら、生涯学習課が実施するスマホ講座をご活用ください。</p> <p>区としてはこのような取り組みとあわせ、今後も町会や民生委員、警察署など様々な事業者と協力して、地域全体で高齢者の見守りを行ってまいります。</p>	<p>—</p>

## 《 金 杉 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：3月4日（金） 午後6時から（会 場：金杉区民館）

### ◇町会加入の促進について

質問	回答	対応
<p>町会内に新規オープンした店舗に、町会加入についての説明を行ったが、本部の方針で町会には加入もせず、迷惑をかけないので関わらないとの返事をもらいました。</p> <p>近年、増加傾向にある店舗に対して、加入を促す強制力のある条例はあるのでしょうか。</p>	<p>区では、「集合住宅の建築及び管理に関する条例」に「町会等への加入に関する協力」という内容を盛り込み、マンションを建築する事業者に対して、入居者の町会加入について町会と事前に協議をするよう依頼しています。また、転入者に対して町会加入のリーフレットを配布するなど加入促進に努めていますが、「町会員」は基本的に個人や世帯であるため、区から事業所等に対し町会への加入勧奨は難しいです。</p> <p>しかしながら、同じ地域で生活する個人や法人がつながりをもって活動することにより、地域が活性化するものだと思います。そこで、町会の活動を広く周知するため、皆さまから情報をいただき、現在、区公式ホームページに各町会を紹介するページの作成を行っています。</p> <p>区としては、町会活動の情報発信を行い、引き続き加入促進に努めてまいります。</p>	△

◇洪水時の水位表示について

質問	回答	対応
<p>近年、台風やゲリラ豪雨など気象の変化による激甚化傾向が増しており、台東区においても洪水に対するハザードマップが配布されているかと思えます。</p> <p>また、10月に配布された荒川氾濫時に各事務所前で想定される浸水の深さを表示したポスターが町会内で非常に好評でした。</p> <p>今後、私たち区民がより一層洪水時の避難意識を高めていくために、各事務所前だけでなく、日頃目に触れる形で浸水想定区域ごとにきめ細かく水位表示をしていただき、電柱などへ掲示をしてみたいかがでしょうか。</p>	<p>近年、各地で風水害による被害が発生しており、本区でも危惧しています。</p> <p>区では、風水害への防災意識を高めていくために、ハザードマップ、安全安心ハンドブックの配布など、様々な方法により啓発を行っているところです。</p> <p>各町会に配布した浸水の深さを表示したポスターについては、町会掲示板等に掲示していただいたことで、被害をより実感いただけたのではないかと思います。このポスターは、区の公式ホームページでも公開していますので、ぜひ地域等でご活用ください。ポスターを追加で必要な際は、担当の危機・災害対策課にご連絡ください。</p> <p>また、昨年10月には防災アプリ「台東防災」の機能強化を行い、地域の水害リスクを視覚的に確認できる機能を追加しましたので、こちらもご活用いただければと思います。</p> <p>ご提案の電柱への水位表示については、実施方法を含め、現在検討しています。</p> <p>引き続き、区民の皆さまがより身近な形で、避難意識の向上につながるような啓発を続けてまいります。</p>	<p>☆</p>

◇在宅医療の推進について

質問	回答	対応
<p>厚生労働省は、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるような医療や介護が連携した体制の構築を目指し、取り組みを進めてきていますが、未だ約8割が病院で亡くなっている状況です。</p> <p>上記体制を阻んでいるのは、自宅では難しいと考えている高齢者や家族の意識だと考えています。そこで、在宅医療の講習会や広報での積極的なPRをお願いしたいです。</p>	<p>区では、自力での通院が困難になっても、住み慣れた地域や家庭で自分らしい最期を迎えるため、在宅や施設での看取りをより一層強化していく目的で、区立台東病院の2階に「在宅療養支援窓口」を設置し、在宅療養生活に関する相談をお受けしています。</p> <p>また、区内の医師会・歯科医師会・薬剤師会、介護サービス事業者連絡会など、医療・介護関係団体で構成された「たいとう地域包括ケア推進協議会」が、在宅療養や看取りについての普及啓発講演会を開催しています。</p> <p>引き続き、たいとう地域包括ケア推進協議会と連携して、区民の方々へ在宅療養や看取りについて、広く周知してまいります。</p>	<p>○</p>

令和3年度  
区長と語る会結果報告書

編集・発行 令和4年3月  
台東区総務部広報課  
令和3年度登録第68号